

シバセ工業

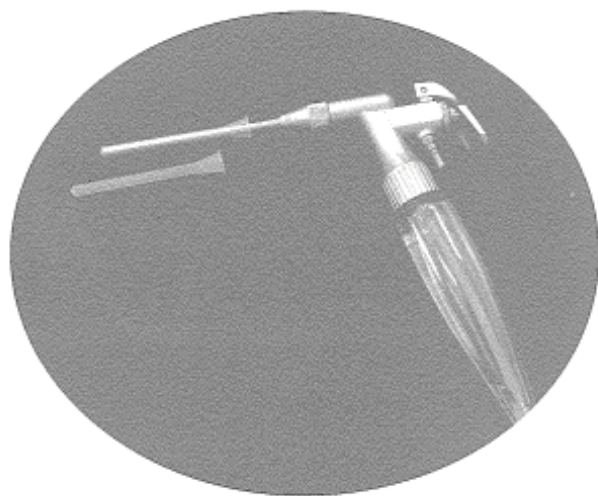
医療用ストロー生産本格化

売れない新商品が感染防止の砦に

ストロー製造のシバセ工業(株) (浅口市鴨方町六条院中3037、磯田拓也社長、資本金1000万円)は、耳鼻咽喉科で使用する医療用ノズルカバーストローの本格展開を始める。

感染を防ぐため、鼻腔内に薬剤を噴霧するためのノズルにかぶせて使用する使い捨て商品。3年前の発売時には1本も売れなかったが、新型コロナウイルス感染拡大で院内感染のリスクが高まったことから医療機器メーカーからの受注が急増。2カ月間で2万本を納品しており、今後も需要拡大が期待されることから、成型ラインの増強を計画している。

収束後も医療現場での感染予防



ノズルにかぶせて院内感染防止意識の高まりが定着するとみており、同商品だけで1カ月10万本の生産体制を整えたい考え。同社は「ストローを使って医療器具をカバーする商品を今後も開発し、医療用ストローの市場形成・拡大を加速していきたい」としている。